

かもう公民館 図書室だより

2020年 3月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

3月 啓蟄(けいちつ)

だんだん暖くなり、草木が芽吹きはじめ、土の中で冬ごもりをしていた虫たちが地上へ出てくる時期をあらわす、二十四節気のひとつ。「啓」は「ひらく」、「蟄」は「冬眠している虫」をいう意味を持っています。冬の寒さに耐えた動植物が春の到来を感じ、活動を始める季節です。(参考資料「大切にしたい、につぼんの暮らし」)



●3月カレンダー

休室日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

住所・電話番号の変更はありませんか？

春は旅立ちの季節。新生活を始めるため、住所や電話番号が変わる方もいらっしゃるのでは？

氏名・住所・電話番号などに変更があった際は、あたらしい情報が記載された証明書(免許証・保険証など)をお持ちのうえ、図書館(室)窓口にてお知らせください。また、市外に転出される方は、未返却の本が無いかが確認をお願いします。



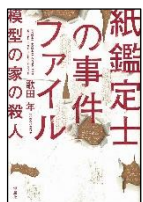
開室日 : 火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間 : 9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数 : 8冊(うち紙芝居2点)
貸出期間 : 15日間

始良市立図書館ホームページ
<http://lib-airajp/>

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

「紙鑑定士の事件 ファイル」 歌田年 著



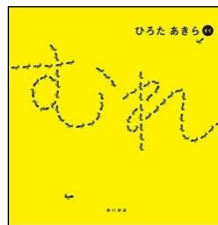
どんな紙でも見分けられる男・渡部が営む紙鑑定事務所。とある依頼からとんでもない事件に巻き込まれ…第18回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作。

明治維新の英雄たちの活躍をたどりながら、外交や経済、文化などの定説が形成された過程や知られざる逸話、サイドストーリーを掘り起こす一冊。



「維新鳴動」
南日本新聞社

「むれ」 ひろたあきら さく



シンプルなテキストに、びっしり描き込まれた「むれ」。ひつじ、きりん、さかな、とり…たくさんのもれの中からちょっと違うところを探し、笑える探し絵本。

一般書

「薩摩藩の参観交替」
「皇后誕生」
「定年後も働きたい。」
「志麻さんちのごはん」
「国宝ロストワールド」
「わが殿(上・下)」
「大人のカチを語ろう。」

上野堯史
文藝春秋
松本すみ子
タサン志麻
岡塚章子他
畠中恵
伊集院静

児童書

「ねむねむごろん」 たなかしん
「わたしのわごむはわたさない」 ムジゲンスケ
「ももたろう(紙芝居むかしばなし)」
※ほか「したきりすずめ」、「おむすびころりん」など

今月の展示コーナー

【こころの健康を整える】

環境が変わるこの時期は、心が不安定になりがち。心の健康を整える本を特集します。

【魚の絵本】

3月7日は魚の日！
お魚が大活躍の絵本を特集♪

【春の絵本】

ぽかぽかあたたかい
春にぴったりな
絵本を特集♪

蒲生公民館図書室利用者 おすすめ本

☆「なくしたもののたちの国」 角田光代 著

この本は、雫田成子という女の子の子どもから大人までの不思議な世界観が描かれています。子供の頃は動物や物と話せ、大人になると恋愛が上手いかず生霊になったり。「なりちゃん」の親友だった山羊の「ゆきちゃん」の話し方もとてもかわいいです。読み終わると、自分も子供の頃のことを振り返り、何もかも新鮮で、楽しくて、不安で、遠くへ行きたくて…なつかしく感じました。私が今までなくてきたもの、忘れてしまった大切なこともこの本のようにどこかにあるなら行ってみたい。久しぶりに夢中で読みました。(蒲生町 SaTOさん)

